

# 「母校を甲子園に」

## 元近鉄投手・福井保夫さん

### プロ経験者・指導資格回復

県内初

### 津山商高コーチに就任

津山商業高校（山北）卒業生で元プロ野球投手の福井保夫さん（62）川崎出身、奈良県安堵町が同校硬式野球部の非常勤コーチに就任した。7日に同校で認証書を受け取った福井さんは「母校に恩返ししたい。甲子園という夢に向かって一緒に歩みたい」と意気込みを語った。

さんは研修を受けて資格を取得した。同制度による資格回復者のコーチ就任は県内の高校では初めて。月2回のペースでボランティアとして指導に訪れる。福井さんは同校卒業後、松下電器を経て昭和49年にドラフト1位で近鉄バファローズへ入団。移籍した広島東洋カープを含め10年間プレーし、引退後は近鉄で6年間スコアラーを務めた。現在、町議会副議長。



同校は昭和42年、セーブアウト場が決まって

いたが一般生徒の不祥事で辞退するという大きな出来事があり、その時津山東中2年だった福井さん。その後津山商に入学し、エースとして2年秋と3年春

にいずれも県大会4強の原動力となった。「われわれ前後の世代は、甲子園への思い」

がいまだに強く心に残っている」と言い、グラウンドで野球部員（杉山雄哉主将、1、2年各10人）を前に「この野球部で育ててもらった。高い意識を持ち、甲子園目指して頑張ろう」と励ました。投球の指導を受けた宮前聡志投手（2年）は「中学生の時、津商野球部に入りたいと調べていて福井さんのことを知った。その福井さんから直接指導を受けることができ、選手目線でアドバイスをいただいた。頑張りた」と感激した様子で話していた。